

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	快適職場形成促進事業(中央分)	担当部局庁	労働基準局安全衛生部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成4年度開始・平成22年度終了	担当課室	労働衛生課環境改善室	亀澤 典子			
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定	施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 労働安全衛生法第71条の4	関係する計画、通知等	第11次労働災害防止計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の職場においては、近年、労働環境の変化等により多くの労働者が疲労やストレスを感じており、また、労働者の健康面への関心の高まりから働きやすさが重視されてきている。そういった状況を踏まえて、快適な職場環境の形成を促進し、労働災害の防止、健康障害の防止に資することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	職場の心理的・制度適側面の改善方法に関する調査研究を行う。また、事業場から申請される快適職場推進計画の技術的審査に係る地方センターからの相談や、快適な職場環境の形成に係る技術的事項等についての事業場からの相談に対応する。さらに、快適職場フォーラム、職場のソフト面の快適化のための講習会の開催等を通じて、事業場における快適職場形成促進について普及啓発を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	80	82	61		
		補正予算					
		繰越し等					
		計	80	82	61		
	執行額	79	77	61			
	執行率(%)	99%	94%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	快適職場フォーラムが今後の取組の参考になった旨の回答を80%以上とする。	成果実績	% (取組)	-	-	93%	-
		達成度	%	-	-	116%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	活動実績 (当初見込み)			-	-	-	( ) ( )
単位当たりコスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>普及啓発事業分 9,116千円</li> <li>調査研究事業分 2,307千円</li> <li>教育研修事業分 31千円</li> </ul>		算出根拠	単位当たりコストを算出することができないため、各事業にかかる精算額による。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	(企画競争を実施した理由) 事業場が快適な職場環境の形成に取り組む際の相談支援に的確に対応するには関係法令の規定を熟知している必要があるほか、効果的かつ総合的な職場環境の快適化に関する指導のためには、安全衛生分野のみならず様々な事業場の実態についての幅広い知識等の専門性が必要であるため、価格による判断のみでは事業が行えない可能性が高く、加えて、調査については実施方法等の手法によって事業の効果、効率に影響があると考えられることから。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		本事業は、快適職場推進計画の認定件数が、近年、約3,000件で推移する等、事業場における快適職場づくりに一定の役割を果たしたと考えられることから、平成22年度をもって廃止した。	
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
省内事業仕分けの結果、廃止とされた。			

※平成22年度実績を記入

快適職場形成促進事業(中央センター)

厚生労働省  
(77百万円(平成21年度精算見込み額))

事業管理、受託者への指導



【企画競争方式】

中央労働災害防止協会  
(77百万円(平成21年度精算見込み額))

職場の心理的・制度適側面の改善方法に関する調査研究、快適職場推進計画に係る都道府県センターからの相談対応、快適職場形成の技術的事項に係る事業場からの相談対応、快適職場フォーラム、職場のソフト面の快適化のための講習会の開催等を通じた快適職場の普及啓発

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.中央労働災害防止協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	委託業務責任者経費	56			
その他の経費	消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、借料及び 損料、会議費、雑役務費、派遣料、雑費	12			
謝金	快適職場フォーラム関係謝金、委員 会関係謝金、全国担当者研修	3			
旅費	都道府県センター支援旅費、快適職場推進事業場調査旅費、 快適職場フォーラム関係旅費、委員会関係旅費、全国担当者 研修講師旅費、近距離交通費	2			
消費税	消費税	4			
計		77	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中央労働災害防止協会	事業場における快適職場京成の普及・促進		1	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					